

令和5年10月14日

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

西が丘に向けて幸先良いスタート!!
次戦に勝ってBest8で昨年を超える!!

二次トーナメント初戦は延長戦の激闘を制し都立狛江に勝利!! リベンジ達成

次戦は、“Best8”に向けて絶対に負けられない闘いが待っている!!

10月7日(土)、待ちに待った選手権大会東京都予選二次トーナメントVS都立狛江高校が爽やかな秋晴れのもと駒沢公園補助競技場グラウンドで行われました。昨年度と違い、選手権組み合わせ抽選会で対戦相手が決定してからは初戦に勝つことが目的ではなく高校サッカーの聖地西が丘競技場に立つことを目標にしてトレーニングをしてきました。この三年間トレーニングしてきた“K's football style”を最も注目の集まる高校サッカー二次トーナメントで披露できる時が再び訪れく西が丘に向けて闘いがスタート!!> たのです。そして、この日は何よりも子どもたちが5月のインターハイ都大会でのリベンジマッチに燃えていました。同じチームに一年間で二回も負けられません!!



駒沢公園内のグラウンドはTRMで年間5回くらいお世話になりますが、今回の駒沢補助グラウンドは9月に日体大荏原高校にお世話になりTRMをしたばかりです。昨年度、新しい芝に貼り換えたばかりでとても気持ちよくサッカーができるのですが多少足に負担の掛かる状態でもあります。結果的には、貼り換えた新しい芝生のマジックが片倉高校に微笑むことになります。

リベンジマッチ VS 狛江高校 二次トーナメントがキックオフ!!

片倉高校のキックオフで始まりました。序盤は相手の背後を狙ってくるシンプルな攻撃を跳ね返し、多少お付き合いしてしまった感がありますが、持ち味の競り合い・球際・プレスのスピードで優位に立つと、次第に落ち着いてボールを握り始めこちらのペースに持ち込みました。相手の守備陣をサイドとセンターから崩し始めると、前半15分に右サイドで粘ってボールを繋ぎ歳森(2年)のパスを石坂(3年)が決めて幸先よく先制します。これで緊張から少し吹っ切れたのか立て続けにシュートまでいきますが追加点は奪えません。しかし、前半は相手にセットプレー以外はチャンスを作らせずに1-0で折り返します。



100 分間の“激闘”は、ドラマチックなエンディングに!!

後半は、メンバー交代をしながら流れを引き寄せる狛江にやや受けに立つ場面も見られました。特にC Kから何度かピンチを作られましたが、この日の守備陣は最後まで集中を切らさずにゴールを割らせません。一進一退の攻防が続く中、1-0 のスコアのまま時間は経過していきます。後半残り 5 分を切ったところで逃げ切りを図ろうと思った矢先に相手のループシュートが決まり同点に…。80 分間で勝負を付けたい狛江は、アディショナルタイムに勝負に出てきましたが、スコアは動かずゲームは 20 分間の延長戦にもつれ込みました。

昨年も延長戦で勝利し、三年間の走りの量ではどこにも負けていないという自負があります。駒沢補助の新しい芝に脚の負担は掛かるものの、勝利のために走り続けるしかありません。

交代枚数を全て使い切り苦しい相手を遂に延長前半終了間際に**横溝 (2年)** がゴールを奪い先にリードします。延長後半は、足を攣って倒れる選手を尻目にプレーすることになり、途切れ途切れで中断することが多くなりました。嫌なことは的中します。延長後半7分にチョットした隙から打たれたシュートがゴールに吸い込まれ再び同点に。アディショナルタイムを入れて残り時間は5分間、PK合戦も想定しましたが相手の状況を考えるとまだチャンスがあると信じて攻めに出ました。すると、この瞬間のため?にパワーを溜めていた**石坂**がスループパスに抜け出して、G Kを交わしてボールを無人のゴールに流し込み、**100分間の激闘**に終止符を打ち、**3-2**で勝利!! 二年連続で格上 (T 4) チームに勝利し、**ベスト16**に進出しました。

2023 選手権予選二次トーナメント SNAP



<応援に駆け付けたOB
と喜びを分かち合う>

<After the Game>

早いもので、狛江高校との激闘から一週間が経過し、明日は伝統校の暁星高校を破った**明法高校**と**ベスト8**を懸けた闘いが待っています。両チームとも選手権二次トーナメントでは新参者ですが、その分ここまでの道のりは紆余曲折もあり容易ではなかったと思います。お互いがここまで積み上げてきたいいものを出し合えるような好ゲームができるように頑張ります。

さて、先日は保護者の方を始め、昨年のサッカー部卒業生や他校のサッカー部員など狛江の応援団の数には叶いませんが、駒沢まで応援に駆け付けてくれました。その想いがグラウンドの子どもたちに勇気を与え、100分間の激闘を制することができたと思っています。その中に、前任校のサッカー部のOBたち (保護者も来てくれたようです)、いつも取材でお世話になっている方など一緒に応援してくれました。しかし、一番驚いたのは最初に指導したサッカー部員 (50?) が試合後声を掛けてくれました。わざわざ見に来てくれたとのこと。嬉しかったですね!!

「Football は子どもたちだけではなく、大人も成長させるのです!!」